

# Impressa Xs90 取扱いマニュアル

## ユラ インプレッサ Xs90 ご使用に際して（重要事項）

本マニュアルは大切に保管してください。また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

### 1. 定期点検

メインユニットは約一年でオーバーホールが必要です。年に一度販売代理店で定期点検を行ってください。

### 2. カルシウム除去

定期的にボイラーや配管のカルシウム詰まりを防ぐためカルシウム除去が必要です。カルシウム除去剤を販売代理店でご購入いただきカルシウム除去を行ってください。

### 3. 毎日の洗浄

長くお使いいただくために洗浄タブレットによる洗浄を毎日行ってください。毎日洗浄を行わなかった場合メインユニットの寿命が半分程度になる場合があります。洗浄を行っていない場合の故障は保証外となりますのでご注意ください。洗浄剤は販売代理店でご購入ください。

食洗機のご使用はお避け下さい。部品の脱落や変形、不具合の原因となります。ドリップトレイ、水タンクをはじめ、いかなる部分もお手入れの際は必ず手で洗うようにしてください。

### 4. 保証書

故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

### 5. 修理の場合

故障、定期点検の場合は販売代理店にご連絡ください。

## 安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

⚠ 警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為

⚠ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

### 機械電源について

⚠ 注意：コンセントについて

- コンセントは、100V（ボルト）で機械一台あたり 15A（アンペア）以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。  
テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意：電源プラグ/コードについて

- 機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。  
機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。
- 機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。  
機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたり、コードを傷つけたときは、販売店に連絡し、修理を依頼してください。  
お客様が独自に修理をしないでください。

⚠ 注意：タコ足配線の禁止について

- 発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

⚠ 注意：延長コードについて

- 延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。  
電源の延長コードが必要な場合は、販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コードや接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ 警告：アース線について

- 接続（アース）していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。アース線は機械に付属品としてついています。
- アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。アース線は次の場所に接続しないでください。  
①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口  
アース線の長さが足りないなど、お困りのことや不明な点は、販売店にご相談ください

### 日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒー抽出時の事故防止

- スチームノズルやコーヒー抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒーまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ 注意：トラブルがあったときの処置

- 機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると火傷や感電する恐れがあります。
- 機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。
- 機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
- ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。  
ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

⚠ 注意：火災などの事故防止

- 火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

⚠ 注意：機械改造の禁止

- 機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意：漏電などの事故防止

- 機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

⚠ 注意：機械故障の防止

- 機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。
- コーヒー抽出以外の目的に使用しないでください。

⚠ 注意：日常の機械点検のお勧め

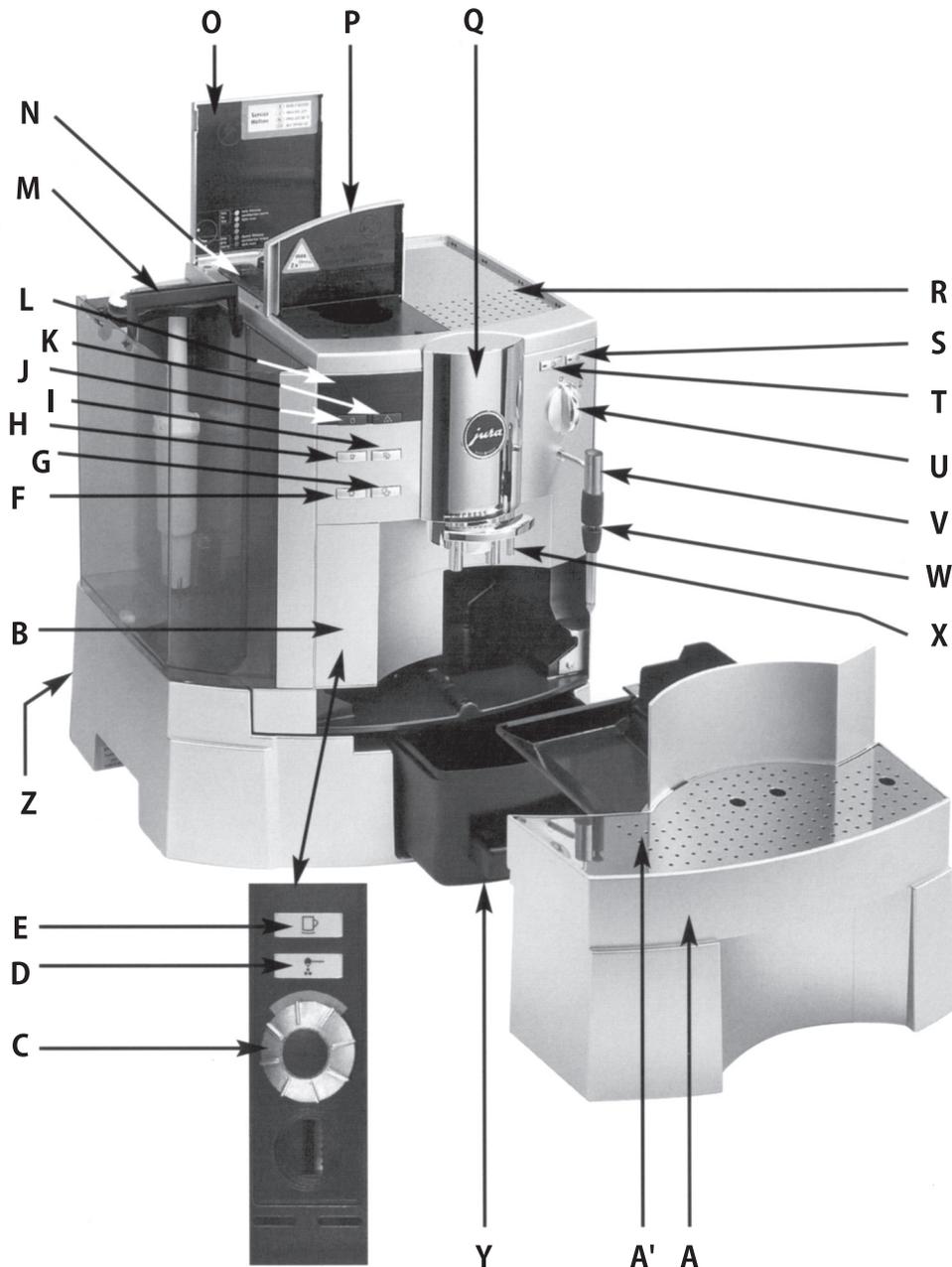
- 定期的に下記の点検を必ず行ってください。  
①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。  
②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。  
③アース線が正しく接続されていますか。

⚠ 注意：通電について

- 夜間など長時間ご使用にならないときは必ず電源を切ってください。



## ■インプレッサ Xs90 各部の名称



- A : ドリフトレイ
- A' : ドリップパネル
- B : 設定パネル扉
- C : ロータリースイッチ
- D : パウダーコーヒー（既挽粉）選択キー
- E : コーヒーアラカルトキー
- F : レギュラー 1 杯取りボタン
- G : レギュラー 2 杯取りボタン
- H : エスプレッソ 1 杯取りボタン
- I : エスプレッソ 2 杯取りボタン
- J : ON/OFF スイッチ
- K : リンス（すすぎ）ボタン
- L : ディスプレー
- M : 水タンク
- N : アロマ保存カバー（中蓋）
- O : 豆ケースカバー
- P : 洗浄タブレット投入口
- Q : コーヒー抽出口（高さ調整付）
- R : カップウォーマー
- S : 連続スチームボタン
- T : 定量スチームボタン
- U : 給湯ノブ
- V : スチームノズル
- W : 二段階スチームジェット  
（付属のオートカプチネーターに付替可能）
- X : 給湯口（高さ調整付）
- Y : 粕ケース
- Z : 主電源スイッチ

## ■ディスプレイ表示の意味（基本編）

**SELECT PRODUCT**

抽出可能メニューボタン (E ~ I) を選択してください

**EMPTY GROUNDS**

粕ケース (Y) を空にしてください

**PRESS RINSE**

リンスをしてください (K)

**FILL WATER TANK**

水タンク (M) に水を補充してください

**EMPTY TRAY**

ドリフトレイ (A) を空にしてください

**CLEAN MACHINE**

洗浄プログラム (p9) を実行してください

**FILL BEANS**

豆ケース (N の下) にコーヒー豆を補充してください

**TRAY MISSING**

ドリフトレイ (A) が入っていません

**DE-SCALE MACHINE**

カルシウム除去プログラム (p11) を実行してください



## ■基本操作

### ■抽出の準備

#### ①給水

きれいにすすいだ水タンク (M) に水をいれます。  
※お湯、ミネラルウォーター、電解水等は使用しないでください。

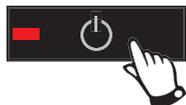
#### ②豆の補充

豆ケースカバー (O)、  
アロマ保存カバー (N) を開け、  
コーヒー豆を補充します。



#### ③電源投入

ON/OFF スイッチ (J) を押します。



#### ④ウォーミングアップ

ディスプレイに下図のような表示がでます。

PLEASE  
WAIT

ウォーミングアップ中、  
しばらくお待ちください。



数分後自動的に表示が変わります。

PRESS  
RINSE

リンスボタンを  
押してください。

#### ⑤リンス (すすぎ)

リンスボタン (K) を押し、  
リンスを行います。表示が下図の  
ように変わり抽出可能となります。



SELECT  
PRODUCT

抽出可能  
メニューボタンを選択してください

### ■コーヒーの抽出

ディスプレイに右図のように表示  
されていればコーヒーが抽出可能です。

SELECT  
PRODUCT

#### ①抽出口の調節

抽出口 (Q) をカップの高さにあわせ調節します。

1 杯取りのときは 2 本の抽出口の中心に、  
2 杯取りのときは 2 本の抽出口  
それぞれの下にカップを置きます。



#### ②メニューボタン選択

好みのメニューボタンを押すとコーヒーが抽出されます。

#### 初期設定時

エスプレッソ  
1 杯取り (H)



エスプレッソ  
2 杯取り (I)

レギュラー  
1 杯取り (F)



レギュラー  
2 杯取り (G)



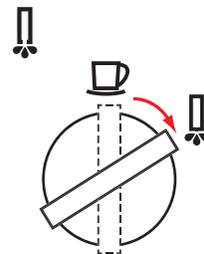
コーヒーアラカルトキー (E)

(設定パネル扉内：取り扱い方法詳細は次ページに)

### ■給湯

#### ①給湯ノブをまわす

給湯口 (X) の下にカップを置きます。  
給湯ノブ (U) を時計まわりに給湯マーク  
の位置まで回します。  
ディスプレイに以下のように  
表示され、お湯が抽出されます。



WATER  
PORTION

設定した一定量のお湯がでると給湯は自動的にとまります。  
給湯ノブを元の位置 まで戻します。  
給湯を途中で止めたいときも同じように まで戻してく  
ださい。

### ■粕の捨て方・排水

#### ①コーヒー粕を捨てる

30 ~ 40 杯の抽出で、下図の表示が  
でます。

EMPTY  
GROUNDS

粕ケースを  
空にしてください



右図のように本体からドリフトレイ (A) を  
ひきだします。

(前端を軽く持ち上げるようにすると簡単に外れます)

※ドリフトレイを外しているあいだは下図のように表示  
されます。

TRAY  
MISSING

ドリフトレイが  
入っていません。

粕ケース (Y) を取り出して中にたまった粕を捨て、水で簡  
単にすすぎます。このとき、ドリフトレイにたまった排  
水も捨ててください。

#### ②ドリフトレイの排水

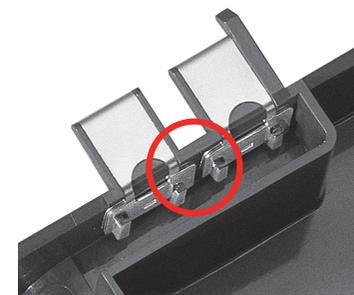
ドリフトレイ (A) に排水がたまると下図の表示がでます。

EMPTY  
TRAY

ドリフトレイを  
空にしてください



ドリフトレイ (A) をひきだし、  
中にたまった排水を捨ててください。



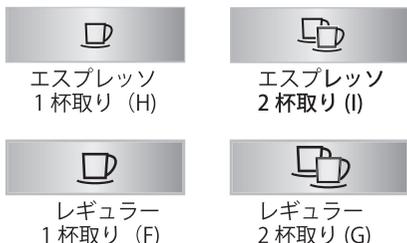
※この時、トレイ後端の電  
極部、(特に円中、金属板  
同士の間の溝) を歯ブラシ  
などを使って念入りに清掃  
してください。

ここが汚れていると、トレ  
イを戻しても排水表示が消  
えないことがあります。

## ■応用操作

### ■コーヒーの抽出 応用編

安定したコーヒー提供のため、各メニューボタンには事前にコーヒー濃度、抽出量、温度等をそれぞれ登録・設定しておきます。(P.5 各種設定参照)



例外として、コーヒーの抽出量は、ボタンを押した後に変更が可能です。

例えばこんな時・・・  
いつものエスプレッソより少しだけ薄くしてほしい、  
と言われた

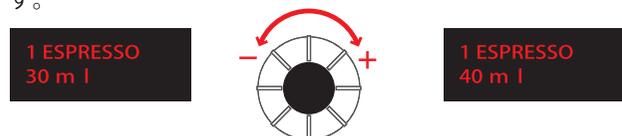
抽出量 30 ml で設定してある  
エスプレッソ 1 杯取を 40 ml に増やす

①設定パネル扉 (B) を開いておきます。

②抽出口の下にカップを用意して  
エスプレッソボタンを押します。



③すぐにロータリースイッチを回すとまず現在の設定量が表示されます。更に回し (右回転=増、左回転=減) 任意の量を表示させれば抽出量はその通りに変更されます。

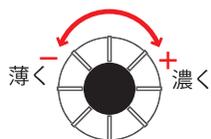
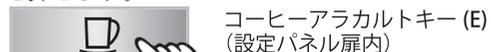


※抽出を途中で止めたい時は再度同じボタンを押します

### ■コーヒーアラカルトキー

コーヒーアラカルトキーは抽出ごとにお好みのコーヒー濃度、抽出量を設定できるフレキシブルなメニューボタンです。他のメニューボタンと使用法が少々異なります。

①抽出口の下にカップを用意してコーヒーアラカルトキーを押します。



コーヒーアラカルトキー (E)  
(設定パネル扉内)

②まずコーヒーの濃度を設定します。ロータリースイッチを回してお好みの濃度を表示させてください

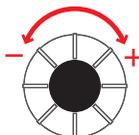
X MILD : エクストラマイルド  
MILD : マイルド  
NORMAL : ノーマル  
STRONG : ストロング  
X STRONG : エクストラストロング

※①～②は手早くすすめないと元の表示に戻ってしまうことがあります

③お好みの濃度を表示させたらロータリースイッチを押します。マシンが豆をひきはじめます。



③すぐにロータリースイッチを回すと抽出量が表示されます。更に回して (右回転=増、左回転=減) お好みの量を表示させてください。抽出量はその通りに変更されます。



※抽出を途中で止めたい時は再度ロータリースイッチを押します

### ■コーヒーアラカルトキーを使用したカップチーノ用コーヒーの抽出

カップチーノ等に使用するストロングコーヒーをコーヒーアラカルトキーから抽出する方法です。  
(\*2 杯取ボタンを使用されていない場合は他のボタン (H)、(F) にストロングコーヒーを設定する事も可能です)

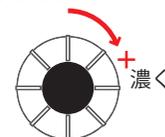
推奨例:

200cc カップを基準		
コーヒー	90cc	STRONG
ミルク	50cc	フォームドミルク約 14 秒※

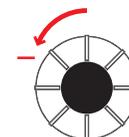
①抽出口の下にカップを用意してコーヒーアラカルトキーを押します。



②ロータリースイッチを右へ回し、下記の表示が出たらロータリースイッチを押します。マシンが豆をひきはじめます。



③すぐにロータリースイッチを左へ回し、90ml と表示させておくとコーヒーが自動的に 90ml 抽出されるとまります。



④カップをオートカップチネーターの下に移し、コーヒーの上にフォームドミルクを抽出します。

※フォームドミルクの抽出方法は p.4  
フォームドミルクの秒数設定は p. 6 定量スチーム時間の項をご参照ください

## ■フォームドミルク・スチームドミルクの抽出

ミルク抽出用パーツにはオートカプチネーター、2段階スチームジェットの2種があり、用途にあわせて付替が可能です。

ミルクの使用頻度が多い場合はオートカプチネーターをおすすめします。



オートカプチネーター

2段階スチームジェット

### ■オートカプチネーター使用方法

オートカプチネーターは下図のような仕組みになっており、中央の黒いつまみ（牛乳調整ノブ）を回すことによってミルクの温度、泡のキメ、泡立ちあり・なし等を設定します。



#### ①牛乳のセット

オートカプチネーターからのびているチューブを牛乳パックまたは容器に移した牛乳に差し込みます。



#### ②スチームボイラーの水抜き

まず、スチームボイラー内に余分な水が溜まっていますので空出しによって取り除きます。  
※連続使用の場合必要ありません。



●牛乳調整ノブを閉じて牛乳を吸い込まないようにします。  
(※右の写真は閉じた状態です。)

●オートカプチネーターの下に余分な水分をうける適当な容器を置きます。

●定量スチームボタン (T) を押し、点滅が点灯に変わったら再度同じボタンを押します。  
これでスチームのみが空出しされ、ボイラー内の余分な水分が抜けます。



定量スチームボタン (T)



連続スチームボタン (S)

#### ③ミルクフォームの抽出

オートカプチネーターの下にカップまたはミルクピッチャーを置きます。左図および下図を参照し牛乳調整ノブをお好みの位置にあわせ、定量スチームボタンまたは連続スチームボタンを押します。

**定量スチームボタン**：あらかじめ設定した量のミルクを抽出  
**連続スチームボタン**：もう一度ボタンを押すまで連続してミルクを抽出し続けます。

※どちらのボタンも再度押す事で（例）中断されます。

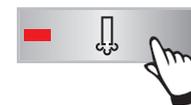
※抽出が終わったら下に適当な容器を置き、ミルクチューブを牛乳から抜いて再度スチームボタンを押し、空だしをします。チューブ内に残った牛乳をとばしておきます。



泡立ちあり 泡立ちなし

#### ④使用後の洗浄

オートカプチネーター使用后、しばらく使わない場合は下図のようにぬるま湯または水を吸わせて洗浄してください。  
※長時間放置すると残ったミルクが固まり、つまりの原因となります。



●チューブの先端を適量のぬるま湯または水にひたし、連続スチームボタンを押す。排出される水がある程度きれいになるまで続けてください。

※業務終了時は洗剤（別売）を使用して洗浄してください。  
(冊子裏面 p.10 ■オートカプチネーターの洗浄ページ参照)

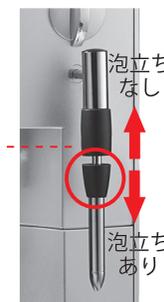
### ■2段階スチームジェット使用方法

#### ①スチームボイラーの水抜き

スチームジェットの下に適当な容器を置き、定量スチームボタンを押して余分な水分を取り除きます。

#### ②ミルクフォームの抽出

カップまたは容器に入れたミルクに先端を差し込み、図中円内の部分を上下させて泡立ちのあり・なしを決定します。  
※写真は下がっている状態（泡立ちあり）です。定量または連続スチームボタンを押し、お好みの状態になったら再度ボタンを押してとめます。



泡立ちミルクの場合は容器をわずかに回しながら行います。

※抽出が終わったら下に適当な容器を置いて再度スチームボタンを押し、空だしをしてチューブ内に残った牛乳をとばしておきます。

#### ③使用後の洗浄

スチームジェット使用后、しばらく使わない場合は点線より下部を手前に折るようにひいて本体から取り外し、軽く水洗いしてください。

(冊子裏面 p.10 ■オートカプチネーターの洗浄ページ参照)

# 各種設定・1

以下の各項目はお好みに合わせて調整が可能です。

- コーヒー濃度
- コーヒー抽出量
- コーヒー温度
- 給湯量
- スチーム時間
- エコノミーモード
- 時計
- 自動電源 ON/OFF
- 表示言語

## 共通操作

設定パネル扉 (B) 内のロータリースイッチを長押しして設定画面へ



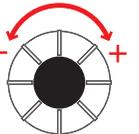
ロータリースイッチをまわして設定項目表示



ロータリースイッチを短押しして選択決定



まわして設定の増減短押しして決定



EXIT で通常画面へ戻る



## コーヒー濃度 (粉量) 設定



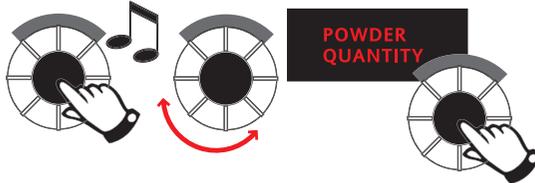
※ 2 杯取りボタン (G)、(I) はコーヒー濃度の設定ができません。(1 杯取と連動している為)

※ 1 杯取りボタン (F)、(H) の濃度は 2 杯取と連動している為、下記の範囲で設定してください。(2 杯取ボタン不使用の場合は自由に設定可能)

- レギュラー 1 杯取り:  
XM (エクストラマイルド) ~ MILD (マイルド)
- エスプレッソ 1 杯取り:  
M (マイルド) ~ NORMAL (ノーマル)

※ コーヒーアラカルトキー (E) の設定は別紙 P.3  
■ 応用操作をご覧ください

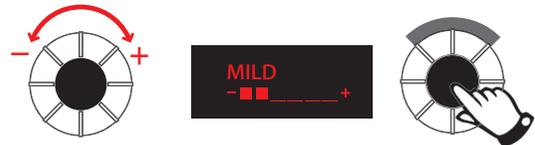
① 設定パネル扉を開き、ロータリースイッチを長押し、ピッという音がしたらスイッチを回し以下の表示が出たらスイッチを押して選択決定



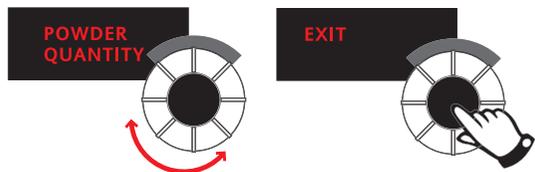
② 設定変更したいメニューのボタンを押すと現在の設定が表示されます。



③ ロータリースイッチを回して好みの濃度 (= 豆の使用量) を表示させ (右回転=増、左回転=減) スイッチを押して選択決定



④ EXIT を選択して設定終了



## コーヒー抽出量 (湯量) 設定



※ 抽出量は 1 杯取りボタン、2 杯取りボタンでそれぞれに設定を行ってください。(連動していません。)

設定のヒント

- 2 杯取りボタンでも、設定および表示量は 1 杯あたりの湯量です (例: 30mlx2 杯 = 30ml と設定)
- 1 杯取り / 2 杯取りの抽出量を揃えたい場合 2 杯取りの湯量を約 5cc 程多めに設定することをおすすめします。(粉に吸われる水分量も増えるため)

① 設定パネル扉を開き、ロータリースイッチを長押し、ピッという音がしたらスイッチを回し以下の表示が出たらスイッチを押して選択決定



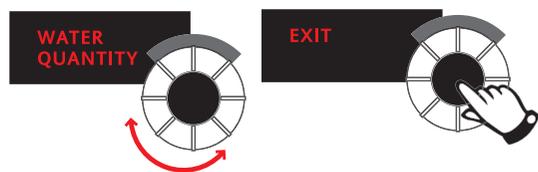
② 設定変更したいメニューのボタンを押すと現在の設定が表示される。



③ スイッチを回して好みの量を表示させ (右回転=増、左回転=減) スイッチを押して選択決定



④ EXIT を選択して設定終了



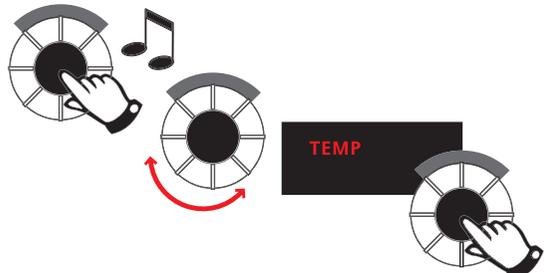
## コーヒー温度の設定

※ NORMAL (中温) または HIGH (高温) のどちらかを選択



※ 温度を HIGH に設定していても、温めていないカップを使用するとコーヒーはすぐに冷めてしまいます。カップは必ず温めてお使い下さい。

① 設定パネル扉を開き、ロータリースイッチを長押し、ピッという音がしたらスイッチを回し以下の表示が出たらスイッチを押して選択決定



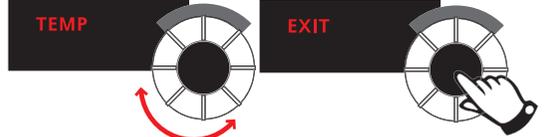
② 設定変更したいメニューのボタンを押すと現在の設定が表示される。



③ スイッチを回して NORMAL または HIGH のどちらかを選択後スイッチを押して決定



④ EXIT を選択して設定終了



## ■各種設定・2

その他の設定								
設定項目	設定画面へ	設定項目選択	設定項目決定	設定の増減・選択 ロータリースイッチを回す	備考	決定	通常画面へ戻る	
定量スチーム時間	 長押し ピッ   まわして 設定項目表示	STEAM PORTION	 短押しで決定		スチーム噴出時間を 秒単位で設定	 短押しで決定	 EXIT   短押しで決定   通常画面へ	
給湯量		WATER PORTION  ※ WATER QUANTITY (コーヒー抽出量) と間違 えないようご注意ください			給湯量を 5ml 単位で設定			
エコノミーモード		ECONOMY MODE -		ECONOMY MODE 1	<p>ECONOMY MODE -</p> <p>ECONOMY MODE 1</p> <p>ECONOMY MODE 2</p>			<p>常時抽出スタンバイ状態。 マシンの加熱を待たずに抽出 可能。</p> <p>コーヒー抽出は常にスタンバ イ状態、スチーム (=ミルク フォーム) は必要時のみ稼動。 スチームの加熱には約1分か かります。</p> <p>必要時のみマシンを加熱。最 後に抽出してから5分経過す ると自動的に節電モードへ。 マシンがスタンバイ状態にな るまで約30秒かかります。</p>
時刻		TIME		TIME --:-- AM	時：あわせて短押し ↓ 分：あわせて短押し			
自動電源 ON/OFF (時刻設定後)		TIME 8:00 AM		UNIT ON --:-- AM	自動電源 ON 時刻			OFF AFTER -- HOURS

表示言語：LANGUAGE：日本語はありません  
 フィルター：FILTER：日本では使用しません  
 水質硬度：WATER HARDNESS：販売代理店で設定します  
 メンテナンス：RINSE：洗浄プログラム、カルシウム除去プログラムへの入り口 詳細はそれぞれのページへ  
 ディスプレイ：24 h表示 /12 h表示 ml表示 /oz表示 が選択できます  
 情報：INFO：販売代理店が設定します

# ■トラブルシューティング・1

ディスプレイに表示されるケース			
ディスプレイ表示	意味	解決方法	それでも復帰しない場合
<b>FILL WATER TANK</b>	水タンクに水を入れてください	水を補給する (p.2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水タンク内の水位感知部品が外れていませんか？ 黒いプラスチック部品がはずれている場合はタンク内の小部屋に収め、透明なプラスチックカバーをしてください。また、水タンクをふって、小部屋内で部品が動くかどうか確認してください。</li> <li>●水タンクが汚れていませんか？タンク内は常に清潔にしてください。</li> </ul>
<b>FILL BEANS</b>	コーヒー豆を入れてください。	コーヒー豆を補給する (p.2) 豆が入っているのに出る場合はセンサー部を拭く (p.8) コーヒーが薄くなった、の項参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>●初めてご使用の場合はもう一度抽出ボタンを押してみてください</li> <li>●その他の場合は豆ケースに異物（水、木片等）が入った可能性があります。洗浄タブレット投入口（P）を引き抜き、掃除機でミル出口の粉を吸い取ってみてください</li> <li>●解決しない場合は至急販売代理店に連絡してください。</li> </ul>
<b>EMPTY GROUNDS</b>	粕ケースを空にしてください	コーヒー粕を捨てる (p.2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●粕ケースを取り出し、10秒後に再度セットしてください。</li> <li>●ドリフトレイの電極（特に裏側）を中性洗剤で洗ってください。</li> </ul>
<b>TRAY MISSING</b>	ドリフトレイが入っていません	ドリフトレイを元へ戻す	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドリフトレイを取り出し、10秒後に再度セットしてください。</li> <li>●ドリフトレイの電極（特に裏側）を中性洗剤で洗ってください。</li> <li>●電極がとれていませんか？洗って水気を拭き取り瞬間接着剤で元の位置に取り付けてください。</li> </ul>
<b>EMPTY TRAY</b>	ドリフトレイを空にしてください	ドリフトレイ内の排水を捨てる (p.2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ドリフトレイの電極が汚れていませんか？ 中性洗剤とブラシを使ってきれいに洗浄してください (p.2) ※特に電極と電極の間のスキマ（下図参照）をよく洗浄してください。その後乾いた布で水気を拭き取って再度セットしてみてください。</li> </ul>
<b>CLEAN MACHINE</b>	洗浄タブレットによる洗浄が必要です (コーヒー抽出は可能です)	洗浄プログラムを実行してください (冊子裏面 p.9)	●洗浄タブレットを使用せずにもう一度洗浄プログラムを行ってください。
<b>CLEAN NOW</b>	早急に洗浄タブレットによる洗浄が必要です	すぐに洗浄プログラムを実行してください (冊子裏面 p.9)	
<b>DE-SCALE MACHINE</b>	カルシウム (水垢) 除去が必要です (コーヒー抽出は可能です)	カルシウム除去プログラムを実行してください (冊子裏面 p.11)	●カルシウム除去剤を使用せずにもう一度カルシウム除去プログラムを行ってください。
<b>DE-SCALE NOW</b>	早急にカルシウム (水垢) 除去が必要です	すぐにカルシウム除去プログラムを実行してください (冊子裏面 p.11)	
<b>FILL SYSTEM</b>	内部に水がありません	初めてご使用の場合はスチームボタンを押してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●水タンクの下に異物が挟まっていないかご確認ください。</li> <li>●水タンク下のネットフィルターにごみが溜まっていないかご確認ください。</li> <li>●本体給水口の外周溝に異物が入っていないかご確認ください。</li> <li>●p.9 ①②の後 RINSE MACHINE を選択、その後⑥～⑧を実行してフィルターに付着したコーヒー粉を拭き取ってください。</li> </ul>
<b>ERROR 2</b>	異常低温 (一定時間内に温度が上がらない)	再度電源を入れなおし数分待ってください。	●販売代理店にご連絡ください。
<b>ERROR 8</b>	起動不良	電源を切り電源プラグを抜いて数分後、再びプラグをさし、スイッチを入れるとしばらく使用できる場合があります。	●至急販売代理店にご連絡ください。

上記を試しても改善されない場合は販売代理店にご連絡ください。

ディスプレイに表示されるケース

ディスプレイ表示	意味	解決方法
	<p>フィルター交換して下さい。 ※日本国内では使わない機能です。</p> <p>オフ設定で出荷しておりますが、操作中に誤って設定をオンにして使用を続けるとこの表示がでます。</p>	
  	<p>フィルター交換して下さい。 内部に水がありません。</p> <p>※上記同様日本国内では使わない機能がオンになったまま使用したためにおきた複合的なトラブルです。 さらに使用を続けて FILTER NO 表示が出るとどのボタンも反応しなくなってしまいます。</p>	<div data-bbox="1615 719 2063 916" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注) HEATING UP 表示中にボタンを長押しして設定画面へ入らないと元の表示に戻ってしまい動作がきかなくなります。 その際は再度電源を切ってやりなおしてください。</p> </div>

上記を試しても改善されない場合は販売代理店にご連絡ください。

## ■トラブルシューティング・2

ディスプレイに表示されないケース		
トラブル	考えられる原因	解決方法
使用中に電源が落ちてしまう ※症状を放置すると基盤等の重要部品が故障する恐れがあるのでご注意ください。	電気容量が不足している	●電気工事店にご相談ください。●同じ電源を使用している機器のプラグを外してください
	他の機器のノイズを拾っている	●原因になりそうな機器を遠ざけてください
コーヒーの出が悪い ポタポタとしか出てこない	豆の挽きが細かすぎる	●豆の挽き調整を粗くする（豆ケース内のダイヤル：印が大きくなるほど挽きが粗くなる）
	フィルターの目詰まり	●p.9 ①②の後 RINSE MACHINE を選択、その後⑥～⑧を実行してフィルターに付着したコーヒー粉汚れをふきとってください
左右の抽出量が均等でない	マシンの傾き	●設置台の水平をとってください
抽出口の片側だけ出が悪い	抽出口内部の汚れ	●詰まっている側の抽出口を図のようにつまようじのような細いもので下からやさしくつついてみてください。何度かつついたら続けて洗浄タブレットを使った毎日の洗浄を行ってください。（冊子裏面 p.9）  それでも解決しない場合は内部で汚れが固まっている可能性があり、修理が必要となります。
ミルクフォームが出てこない	エアーサクシジョンの汚れ・目詰り	●エアーサクシジョンを洗浄するかスベアと交換してください
ミルクフォームがぬるい ミルクフォームが泡立たない	オートカプチネーターの汚れ	●冊子裏面 p.10 に従ってオートカプチネーターを洗浄してください。 ●ミルクの固まりが詰まっている場合、応急措置としてカプチネーターを取り外し、図のように針金やクリップ等先の細いものでスチームの穴をつつく。 ※時間ができ次第、オートカプチネーターを洗浄してください。
コーヒーを挽くときに異音がる ミルが空回りして豆を挽かない	豆ケースに異物が混入した 豆ケース内にコーヒーの微粉が溜まっている	●洗浄タブレット投入口（P）を引き抜き、掃除機でミル出口の粉を吸い取っててください
（設定を変えていないのに） コーヒーが薄くなった	センサーの汚れ	●豆ケースカバー（O）、及び中蓋（N）を開け、図のようにマイナスドライバーを使って中のプラスチック部品を取り除き、センサー部分（矢印の箇所）をきれいに拭きとってください。
コーヒーがぬるい	カップを温めていない	●陶器のカップはコーヒーの熱を奪います。カップは必ず 60～70℃程度に温めてからお使いくださいエスプレッソ等抽出量の少ないものほど事前のカップの温めが重要です ●（p.5 ■コーヒー温度の設定）を参照してコーヒーの温度を HIGH に設定してください



上記を試しても改善されない場合は販売代理店にご連絡ください。



# ■インプレッサ Xs90 洗浄マニュアル (毎日行ってください)

洗浄タブレットを使用して洗浄プログラムを毎日行ってください。また、下記の表示が出たときにも行ってください。

**CLEAN MACHINE**

**SELECT PRODUCT**

※ **CLEAN MACHINE** の表示が出ている場合は、リンスボタンを押して、手順④へ進んで下さい。

洗浄タブレット  
販売代理店または(株)コントラストにご注文下さい。(1本60錠入)



## ■洗浄プログラム



洗浄は約 15 分かかります。洗浄プログラム終了後は通常通り抽出可能となります。

この作業は中断できません。

① 設定パネル扉 (B) を開き、ピッという音がするまでロータリースイッチを長押しする



② 以下の表示が出るまでロータリースイッチを回し、表示させたところでスイッチを押して選択決定 (短押し)



③ 更に以下の表示が出るまでロータリースイッチを回し、短押しで決定



(② - ③ の手順は手早くやらないと元の表示に戻ってしまうのでご注意ください)

④ ドリフトレイの排水と粕ケースのコーヒー粕を捨て、それぞれを洗ってから本体に戻します

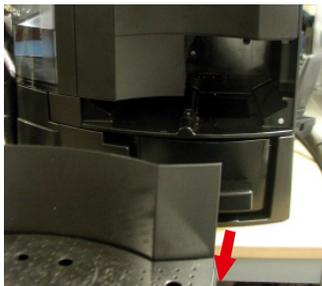


⑤ 以下の表示が出たらコーヒー抽出口の下に付属のステンレスカップを置き、リンスボタン (K) を押します

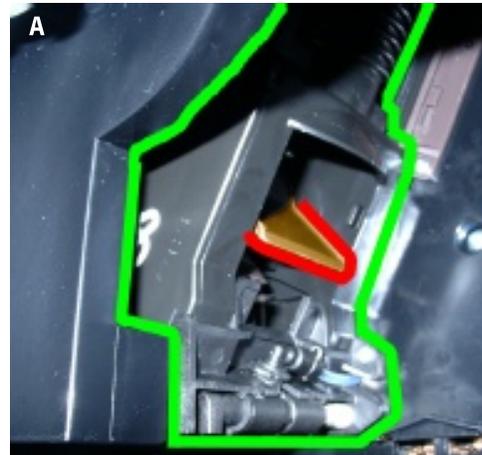


右の表示が出ます

⑥ ピッと音が鳴ったらドリフトレイを外します



⑦ 本体内部を斜め下から覗いてください。写真 A のように抽出ユニットが見えます。(緑で囲んである部分) フィルターは抽出ユニットの斜めになった茶色の板 (赤囲み) の上奥にあります。



⑧ 茶色の板を指で伝って上の方へ向かうと丸く平らな金属のフィルターに触れます。写真 B (真ん中がネジ留めされている為、へこみがあります。) それに付着したコーヒー粉をキッチンペーパー等で拭き取ってください。



⑨ 洗浄タブレット投入口 (P) を開け、洗浄タブレットを 1 粒投入してフタを閉じます



⑩ リンスボタン (K) を押します



⑪ 洗浄がはじまります。ここから終了まで約 13 分です。ピピッという音がしたら終了です



⑫ ドリフトレイの排水と粕ケースにたまった水を捨て、それぞれを洗ってから本体に戻します



⑬ 下図の表示に戻り再びコーヒーが抽出できます。





# ■オートカプチネーターの洗浄

## ■毎日の洗浄

業務終了時には専用の洗剤を使用してオートカプチネーターの洗浄をしてください。



ミルク用洗剤・ラテウォッシュ (別売)  
販売代理店または(株)コントラストにご注文ください。  
1本(1.8kg)で4~5ヶ月お使いいただけます。

① 250cc (ステンレスカップ半分位) のぬるま湯に対し 5% (12.5cc / 付属の計量カップ使用) のラテ・ウォッシュ (注\*1) をよく溶かして洗浄液を作り、ミルクチューブの先を浸します。オートカプチネーターの下には空の容器を置きます。



(注\*1) **まぜるな危険！換気注意**  
塩素系洗浄剤・酸性製品と混ぜると有害ガスが発生。

② 連続スチームボタンを押し、ランプが点灯から点滅に変わったら再度同じボタンを押します。



洗浄液がミルクチューブを通して吸い上げられ、オートカプチネーター内部を洗浄した後、空の容器にはきだされます。洗浄液がなくなったら、再度連続スチームボタンを押して吸い上げを終了します。



※ミルク調整ノブの位置を上下変えて両方とも吸い上げ洗浄を行ってください。

※ミルク調整ノブがボイラー水抜き位置にあると洗浄液を吸い上げないのでご注意ください。

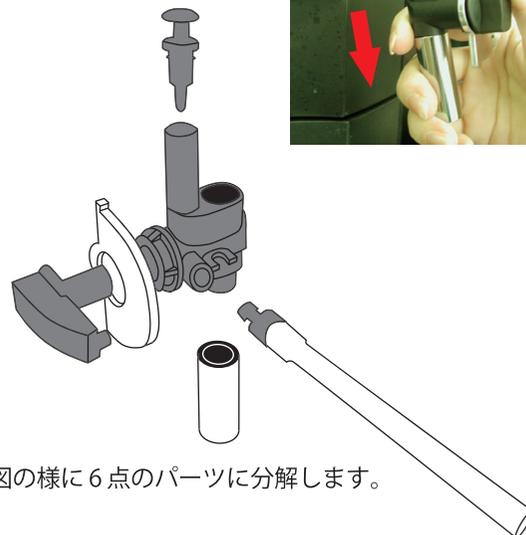
③ 今度はカップにきれいなぬるま湯を 1 杯用意してミルクチューブの先を浸し、オートカプチネーターの下には空の容器を置きます。連続スチームボタンを押してチューブ内に残った洗剤をすすぎます。ぬるま湯がなくなったら、再度連続スチームボタンを押して吸い上げを終了します。



## ■汚れのひどい時 (分解清掃)

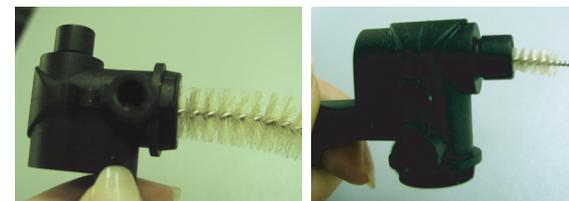
ミルクの出が悪くなる、温度があがらない、等のトラブルの原因として、洗浄不足によるミルク粕のつまりが考えられます。

① 中ほど、ゴム部分を手前に折るようにして下に引いて本体から取り外します。



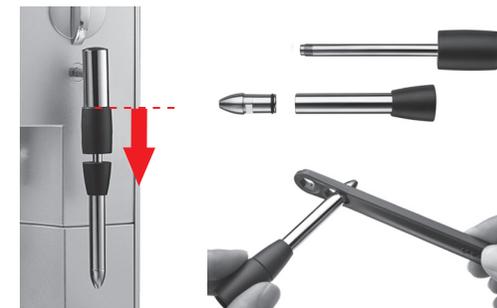
図の様に 6 点のパーツに分解します。

② 分解したパーツを洗剤でつけおき洗った後、よく洗い流し、汚れのひどい部分はブラシなどでこすり洗いし、きれいにすすいで下さい。



③ きれいになったパーツを元通り組み立てて戻します。  
※組み立てを間違えるとミルクができません。左図を参照して、間違いのないよう元に戻してください。

## ■ 2 段階スチームジェットの洗浄



点線より下部を手前に折るようにひいて本体から取り外し、付属部品を使用して写真のように分解します。分解したパーツを洗剤でつけおき洗った後、よく洗い流し、汚れのひどい部分はブラシなどでこすり洗いし、きれいにすすいで下さい。

きれいになったパーツを元通り組み立てて戻します。  
※組み立てを間違えるとミルクができません。写真を参照して、間違いのないよう元に戻してください。

# ■カルシウム除去マニュアル

## 以下のようなサインが出たらカルシウム除去が必要です。

※サインが出てもコーヒーやお湯の供給はできますができるだけ速やかにカルシウム除去を行ってください



カルシウム除去剤  
販売代理店または(株)コントラスト  
にご注文ください。  
(9錠入り・3回分)

DE-SCALE MACHINE

SELECT PRODUCT

## ■カルシウム除去プログラム



カルシウム除去は約35分かかります。プログラム終了後は通常通り抽出可能となります。



この作業は中断できません。

①カルシウム除去のサインがでている状態でリンスボタン (K) を長押しします

DE-SCALE MACHINE

SELECT PRODUCT



②

EMPTY TRAY

EMPTY GROUNDS

ドリフトトレイの排水と粕ケースのコーヒー粕を捨て、それぞれを洗ってから本体に戻します

③

AGENT IN TANK

PRESS STEAM

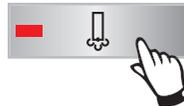
本体から水タンクを外し中に残っている水を捨てて空にします。

④カルシウム除去剤3錠と600ccの水を正確に計りタンクに入れ、再び本体にセットして、カルシウム除去剤が完全に溶けるまで待ちます。



※水の量が不正確だと適切な効果が得られません。また、水が多すぎる場合、水がなくなるまでプログラムを作動し続け時間がかかりますのでご注意ください。

⑤オートカップチネーター（またはスチームジェット）を本体から外し、その下にステンレスカップまたは大振りのカップを置き、スチームボタン（定量・連続どちらでも可）を押します



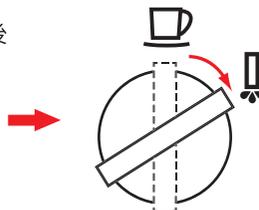
⑥ピッピッという動作音となり、表示が以下のように変わったら容器を給湯口の下へ移動し、給湯ノブ (U) を給湯マーク までまわします

MACHINE DE-SCALING



約9分後

OPEN TAP



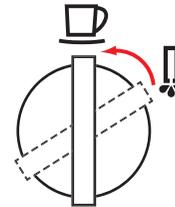
⑦ピッピッという動作音となり、表示が以下のように変わったら、給湯ノブ (U) を元の位置 へ戻します。

MACHINE DE-SCALING



約4分後

CLOSE TAP



⑧

MACHINE DE-SCALING



約15分後

EMPTY TRAY

EMPTY GROUNDS

ドリフトトレイの排水と粕ケースの排水を捨て、それぞれをきれいに洗って本体へ戻します

⑨

FILL WATER TANK

RINSE WATER TANK

水タンクをていねいにすすぎ、きれいな水で満たして本体へ戻します。

この後すすぎの作業へ入ります

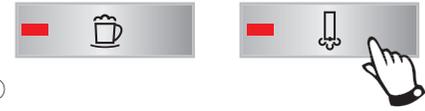
## ■すすぎ

水タンクを本体へ戻すと以下の表示がでます。

PRESS STEAM

ここからは手順⑤～⑨の繰り返しです。きれいな水を再度通すことによって内部に残った除去剤を洗い流します。

⑩スチームノズルの下にステンレスカップを置き、スチームボタンのどちらかを押しします



⑪

MACHINE DE-SCALING

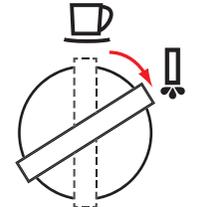


約2分後

OPEN TAP



給湯ノブ (U) を給湯マークまでまわします



⑫

MACHINE DE-SCALING

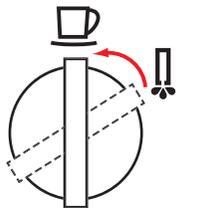


約1分後

CLOSE TAP



給湯ノブ (U) を元の位置へ戻します。



⑬

約1分後

EMPTY TRAY

EMPTY GROUNDS

ドリフトトレイの排水と粕ケースのコーヒー粕を捨て、それぞれをきれいに洗って本体へ戻します。

※このときドリフトトレイ後ろ側の電極部も念入りに清掃してください。

⑭以下の表示に戻り、カルシウム除去プログラムの終了です。

SELECT PRODUCT